

平成24年度

決算まとまる

市は、平成24年度の決算収支の状況を取りまとめました。一般会計、特別会計および企業会計の決算の概要についてお知らせします。

【問合せ先】 ※市外局番は《0798》

- 一般会計・特別会計について 財政課(35・3414)
■水道事業・工業用水道事業について 水道局財務課(32・2211)
■中央病院事業について 中央病院総務課(64・1515)
■下水道事業について 経営管理課(35・3652)

《平成24年度 歳入・歳出決算状況》

Table with columns: 区分, 歳入決算額, 歳出決算額, 歳入・歳出差引額, 翌年度に繰越すべき財源, 実質収支額. Rows include 一般会計, 特別会計 (11 items), 企業会計 (4 items).

一般会計

平成24年度の各会計別歳入・歳出決算状況と一般会計決算額の内訳は、左表・円グラフのとおりです。
歳入が1618億7562万円に対し、歳出は1576億3165万円、差し引き42億4397万円の剰余になりましたが、25年度への繰越事業の財源として4億2408万円を充当しているため、実質的には38億1989万円の黒字です。

収入が、年少扶養控除の廃止による個人市民税の増等により、前年度より増額となりましたが(前年度比0.5%増)、地方交付税は前年度に引き続き減額となりました(前年度比7.2%減)。また、前年度に収入のあった土地開発公社に対する貸付金の返還が24年度は無かったことにより、諸収入が大幅な減額(前年度比61.8%減)となったほか、24年度に完成した東部総合処理センターの整備事業費の減に伴う市債の減により、総額では前年度に比し6.2%の減額となりました。

特別会計

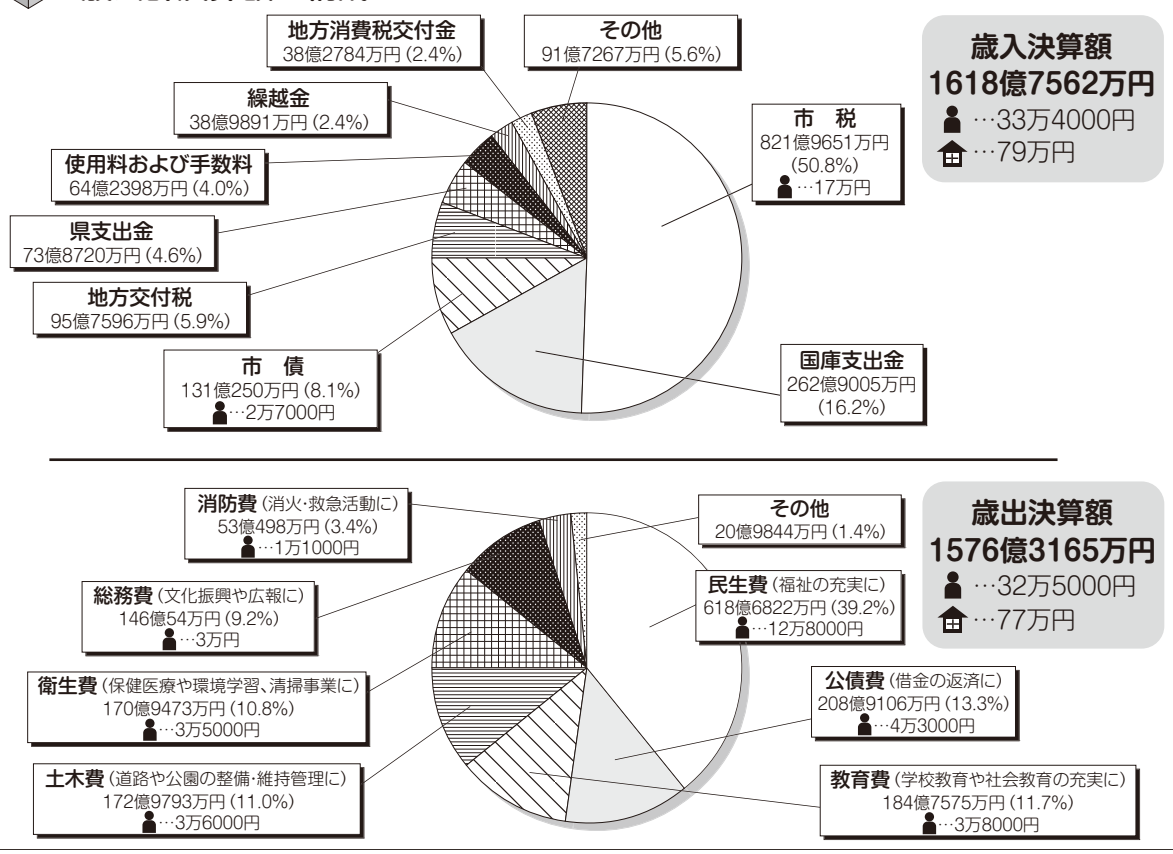
一方、歳出では、阪神・淡路大震災の災害復旧事業などの財源として借り入れた多額の市債の償還の一部が終了したため、公債費が大幅な減額となりました(前年度比13.1%減)。また、前年度に行った土地開発公社からの土地の買い戻しのための用地買収費が無くなったことなどにより、歳出総額では前年度比6.6%の減額となりました。

11ある特別会計の合計で
収益的収支については工業用水道事業で1億5840万円、下水道事業で9億8070万円の黒字になりましたが、水道事業で3132万円、中央病院事業で4億7061万円の赤字になりました(いずれも消費税および地方消費税を含む)。

企業会計

平成24年度は、保育所の待機児童対策などの子育て支援や障害者施策、学校施設などの耐震化、東日本大震災を教訓とした防災・減災対策など市民ニーズを踏まえた施策や安心・安全を高めるための事業を実施しました。
また、健全化判断比率Ⅱ3面参照Ⅱでは西宮市は国の定める基準を超えておらず、主な財政指標はおおむね改善傾向にあります。しかし、扶助費などの社会保障関係経費は増加の一途をたどっており、公共施設の老朽化対策など新たなまちづくりの課題も山積みとなっています。
今後もこれらの課題に着実に対応するため、経費削減などにより財源確保を図るとともに、社会情勢などを十分注視しながら安定した財政運営に努めます。

一般会計決算額の構成



目的税の用途状況

市は、一定の政策目標を達成するために、用途を限定した目的税(入湯税、事業所税、都市計画税)を徴収しています。平成24年度決算における目的税の用途状況は、下表のとおりです。問合せは税務管理課(0798・35・3200)へ。

Table for '入湯税' (Bathing Tax) with columns: 用途, 充当額(千円). Rows: 環境衛生施設整備事業, 消防施設等整備事業, 観光振興事業, 計.

Table for '事業所税' (Business Tax) with columns: 用途, 充当額(千円). Rows: 教育文化施設整備事業, 社会福祉施設整備事業, 公債費等, 計.

Table for '都市計画税' (City Planning Tax) with columns: 用途, 充当額(千円). Rows: 街路事業, 下水道整備事業, 公債費, 計.

安定した財政運営を着実に

業を実施しました。
また、健全化判断比率Ⅱ3面参照Ⅱでは西宮市は国の定める基準を超えておらず、主な財政指標はおおむね改善傾向にあります。しかし、扶助費などの社会保障関係経費は増加の一途をたどっており、公共施設の老朽化対策など新たなまちづくりの課題も山積みとなっています。
今後もこれらの課題に着実に対応するため、経費削減などにより財源確保を図るとともに、社会情勢などを十分注視しながら安定した財政運営に努めます。